

やまがた認知症カフェ通信 2026 1月号

令和8年1月 15 日発行 発行元／山形県認知症相談・交流拠点さくらんぼカフェ

認知症に関する県の普及啓発の取組について

先日発行された「県民のあゆみ」令和8年1月号はご覧いただけましたでしょうか？特集2の紙面にて、「認知症の正しい理解を深めましょう」と題し、新しい認知症観をはじめ、認知症カフェや相談先について紹介しています。発行部数約40万部、県内の世帯に広く配布される県民のあゆみを通じて、幅広い世代が認知症について考え、理解を深めるきっかけとなり、認知症に対する正しい理解に向けた効果的な広報・啓発が行えたものと考えております。

このように県では、県広報誌や県政テレビ等を通じた認知症の普及啓発を展開しています。

【令和7年度に行った主な普及啓発活動】

◆県政広報テレビ「やまがたサンデー5」 令和7年9月14日

- ・テーマ：認知症の方と家族にやさしい地域の共生社会づくり
(YBC山形放送公式YouTubeチャンネルにて視聴可能)



県民のあゆみ

やまがたサンデー5

◆「やまがた認知症シンポジウム2025」 令和7年9月23日

- ・テーマ：知ることから始めよう。共に生きる地域の未来。
(テレビユー山形公式YouTubeチャンネル内

「明日へのチカラ【SDGs】」にて一部視聴可能)



明日へのチカラ

◆山形県立図書館 認知症に関する企画展示を開催

- ・テーマ：知っていますか、認知症のこと

共生社会の実現に向け、認知症への理解が深まるよう、今後も多様な媒体を活用した普及啓発をより一層推進してまいります。（山形県高齢者支援課）

さくらんぼカフェより

さくらんぼカフェから旬の話題をお届けします！

高校生とさくらんぼカフェ出張交流会をおこないました！

置賜地区の2025年度さくらんぼ出張交流会では、九里学園高校の3年生を対象に交流会をおこないました。九里学園では、2年生、3年生の選択授業で介護福祉の授業を展開しており、授業の中で「新しい認知症観」や共生社会について学習しています。「新しい認知症観」については、従来のイメージ「認知症になると、何もできなくなる。」「認知症にはなりたくない。」から、「認知症になっても、できることや、やりたいことがたくさんあること」の理解を深める事ができました。

この出張交流会の事前準備として、米沢市高齢福祉課の方による「認知症サポーター養成講座」を開催しました。その中で「調理作りでは食材のカットなど、できることをやってもらおうと思う。」や「マイナスのイメージではなく、明るいイメージをもった。」などの感想が寄せられました。

11月5日の交流会では、若年性認知症の夫の介護経験を持つ認知症の人と家族の会の世話人から生の声を聞き、参加した高校生は、興味深く聞き入っていました。その中で若年性認知症の診断後、仕事を退職し自宅で過ごしていたのが、就労支援作業所の活動に繋がりやりがいを見つけたことや、夫婦で臨床美術をした時間が楽しい思い出になったエピソードを聞くことができました。

その後、参加者全員で、臨床美術の体験で石にペイントをしました。

ユニークな作品が完成し楽しい時間を過ごしました。 （藤倉 純子）



認知症カフェ『Mカフェ』 社会福祉法人天童福祉厚生会 特別養護老人ホーム明幸園 ～認知症カフェを拠点とした、認知症サポートー活動促進事業～

2016年3月、オランダのアルツハイマーカフェにならい、オープンな認知症カフェとして活動をスタートしました。毎月第1土曜日13:00~15:00に開店し、地域住民、認知症のある方とそのご家族、専門職、学生など、毎回60~70名が集う交流の場となっています。私たちは「カフェタイム」を、単なる休憩の時間ではなく、心と心が通い合う大切なひとときと捉えています。飲み物を囲んだ何気ない会話の中には、その人の想いや人生が自然に表れます。一つひとつの対話を大切にしながら信頼関係を丁寧に育み、安心と尊厳のある暮らしへとつなげていくこと。それが、私たちの支援の原点です。

令和元年度には認知症サポートー活動推進講座を開講し、ボランティアチーム「チームオレンジ M's」を結成。認知症カフェ「Mカフェ」を拠点に、カフェ運営協力、地域の見守りや傾聴活動を行っています。また、介護保険サービスを利用していない認知症の方を対象に、週1回の自宅訪問活動を実施し、地域での暮らしを支えています。不定期開催の「M'sキッチン」は、認知症のある方が安心して働ける場として取り組んでいます。私たちが目指しているのは、単なる「ユニークな飲食体験」ではありません。社会の“当たり前”を少しずつ問い合わせ直し、違いを自然に受けとめ合える社会を広げていくこと。そのための実践の場です。「間違い」を面白がるのではなく、「違い」を尊重する。この場所から、やさしさの余白を社会に少しずつ広げていきたいと考えています。認知症のある方が安心して働くこと。そして、誰もが対等に関わり合い、安心して暮らせる地域であることを。その実現を願い、私たちはこれからも地域とともに歩み続けていきます。

(主任生活相談員 今野 繁昭)



個別訪問の様子



M'sキッチン

インフォメーション

次回の認知症カフェ「Mカフェ」は、2月7日（土）13時より開催します。今回は行政書士を講師に迎え、暮らしや将来に役立つお話をしていただく予定です。どなたでもお気軽に立ち寄りください。スタッフ一同、とびきりの笑顔でお待ちしています。

また、認知症に対する理解をより深める取り組みとして、認知症サポートー養成講座の開催に加え、認知症の当事者や研究者を講師に迎えた、誰もが参加しやすいオープンスタイルの公開セミナーを今年秋頃に予定しています。世代や立場を超えて学び合い、語り合える場を通して、地域全体で認知症を支える土壤づくりを進めていきます。今後の詳細につきましては、決まり次第ご案内いたします。なお、Instagramでも活動の様子や開催情報を発信しています。最新情報は、掲載のQRコードよりぜひご覧ください。



ホットな話題をお届けします！

**めいこうえんの認知症カフェ
「Mカフェ」2月の予定**

**2026.2.7(土)
13:00~15:00**

●会 場 特別養護老人ホーム 明幸園 地域交流スペース

●対 象 どちらでも（認知症の本人、家族、地域の皆さん、ケアマネジャー、介護福祉の専門職、学生、地域の皆さま等など）

●駐車場 あり

●参加費 無料 *運営協力のための基金箱を設置しております。

●内 容 コーヒー、お菓子などをご用意しております。
13:00 オープン カフェタイム
13:20 ミニ講話 今回のテーマは「行政書士の目線で考える認知症への備え」
お話しは 矢作さおり 行政書士事務所 矢作 沙織さん
13:40 カフェタイム
14:00 Q&A
15:00 クローズ

事前の申し込みは不要です。

*心地よい音楽が流れ、居心地の良い空間づくりを目指しています。
ぜひお気軽にお越しください♪
リラックスした雰囲気の中で、お話しと参加者の交流をお楽しみください。

発行元：山形県認知症相談・交流拠点さくらんぼカフェ 山形県認知症コールセンター（山形市 県小白川庁舎内）

電話・来所相談・カフェオープン 月曜～金曜日 昼12時～午後4時

TEL 023-687-0387 FAX 023-687-0397 E-mail kazokunokai@camel.plala.or.jp

皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

～調査ご協力のお願い～

東北文教大学の講師、伊藤就治氏が社会貢献研究の一環として、「山形県で開催される認知症カフェ運営実態に関する調査」を実施します。2月9日より調査用紙が届く予定ですので、アンケートのご協力お願いいたします。